



甲山森林公園ハイキング

日時：2021年7月29日 快晴 気温35度 集合9時50分 阪神神戸線 西宮駅改札口（戎口）出たところ

バス
停
へ



(参加者) 18名

*10時10分発バス乗車 → 県立甲山森林公園前着(下車)

パークセンター管理棟に向けてスタート。

管理棟着 福嶋明子さんパンフ資料で順路を説明



園内には、パークセンター（管理棟、ビジター棟）レストハウス、シンボルゾーン、屋外ステージ、展望台、甲山自然観察池、体力作りコースなどや駐車場、トイレが整備されており、ハイキング、ジョギング、バードウォッチングなど自然豊かな環境の中で、小さな子どもから高齢者まで利用が可能と紹介されている通り、親子連れが数組、虫取りネット等を持っていました。森林公園が市民に親しまれている事を実感できました。

1970年（昭和45年）11月10日に開園した都市公園（広域公園）で六甲山の東、甲山（標高309.4m）の大部分とその山麓に広がる森林公園、広さは83ha。1200万年前に噴火したとされる。岩質は輝石安山岩からなり、隣接した花崗岩（いわゆる御影石）からなる六甲山とは全く形成過程が異なる。1200万年前の活動期には大きく広がる山体を持っていた。約200万年間の活動が終息した後、侵食によりわずかに火口付近の火道周囲のみが塊状に残るに至ったことが確認されている。

西宮市域には甲山刻印群・北山刻印群・越木岩刻印群と刻印石がまとまって残っている場所が三か所ありますが、甲山刻印群の中でもG地区と呼ばれる場所の調査で新たなことがいろいろと分かってきたそうです。甲山森林公園南端の方は木が生い茂ってなかなか調査のしにくい場所だったので、飛行機を飛ばして3Dレーザー測量をおこなって、地形や刻印石の所在などがはっきりした。どこから切り出してどのように運んだのかなど、新たな研究にとっても役立つようです。





甲山自然学習館へ到着

甲山自然学習館を見学

ここから甲山登山ルートへ

滑り易く、危険な登り道が続く



神呪寺 (かんのうじ)



甲山山麓にある神呪寺にある碑には、禅僧虎関師鍊が編纂した元亨積書の記述に基づき、十四代仲哀天皇の皇后神功皇后が国家平安守護のため山頂に如意宝珠及び兜を埋め、五十三代淳和天皇の勅願により天長8年(831年)10月18日、神呪寺を開創大殿落慶したと伝えている。そのためか甲山のどこかに宝が隠されているという俗説が地元ではあった。なお明治当初には、神戸に来航した欧米人よりビスマルク山という俗名がつけられた。19世紀頃のドイツ帝国の首相であったオットー・フォン・ビスマルクが、かぶっていた三角形の帽子に姿が似ていたからだといわれている。

神呪寺 (かんのうじ、**神呪寺**) は、兵庫県西宮市甲山山麓にある、真言宗御室派別格本山の寺院。通称甲山大師 (かぶとやまだいし) と呼ばれる。新西国三十三箇所第21番札所。寺号の「神呪寺」は、「神を呪う」という意味ではなく、甲山を神の山とする信仰があり、この寺を神の寺 (かんのじ) としたことによるという。なお、「神呪」(じんしゅ)とは、呪文、マントラ、真言とほぼ同義で、「仏の真の言葉」という意味がある。開山当時の名称は「摩尼山・神呪寺(しんじゅじ)」であり、「感応寺」という別称もあったようだ。

御詠歌. 来てみれば すがたも花の かぶと山 寺もわが身も 薄雲の中. ご説明. 神呪寺 / 御朱印 神功皇后が平和を祈願して兜等を埋めたという伝説があり、またその山の形がかぶとに似ているところから、甲山と名付けられたこの山の中腹に、神呪...甲山大師の名で親しまれている神呪寺は、甲山の中腹にあり平安時代初期に淳和天皇の妃の如意尼が弘法大師を招いて開創したと伝えられる。弘法大師が如意尼をモデルに彫ったという伝説のある木造如意輪観音坐像は国指定...

神を呪うと書く寺号から怖い感じのお寺ですが仏の真の言葉と言う意味となり本尊「如意輪半跏像」を参れば融通してくれ融通さんと親しまれます。財宝万倍の融通小判が...

開創千百九十年 真言宗御室派 真言宗御室派別格本山の寺院。通称甲山大師 (かぶとやまだいし) と呼ばれる。

➡ ● (交通・帰路) 甲山大師前阪神バス停で乗車 ➡ 阪神西宮駅前バス停で下車 (集合・解散)